

| 授業科目名 | 臨床実習 | 授業形態 | 実習 | 配当学期 | 3年(前期・後期) |
|-------------|---|------|------|------|-----------|
| 担当教員名 | 上村朋久、仲山晃生、島本裕士、春芳準朗 | 単位数 | 12単位 | 時間数 | 480時間 |
| 概 要 | <p>【テーマと目標】</p> <p>学校で学んだ知識を臨床の場で実際に行い、言語聴覚士としての必要な臨床的問題解決能力を身に付ける。また、臨床場面で交流を通じて、人間性豊かな言語聴覚士を目指す。</p> <p>【内容と計画】</p> <p>失語症、運動性構音障害、嚥下障害、言語発達障害などの利用者に対して、治療や訓練過程の方法を学ぶ。</p> | | | | |
| 評価方法 | 実習指導者の評価に基づき、学科で合否の判断を行う。(最終評価は3年後期) | | | | |
| 教科書 参考図書 | <p>〔教科書〕 特になし</p> <p>〔参考図書〕 特になし</p> | | | | |
| 履修上の 留意点 | 今まで学習した知識を使いますので、赴く施設の特性に応じた学習をしておくこと。 | | | | |
| メッセージ | 長期にわたり実習を通じて臨床能力を養う授業となります。評価・訓練から症例報告書などを作成する過程が含まれていますので、毎日の積み重ねが大切です。 | | | | |